

令和 5 年度第 1 回区政会議 事前質問・意見への回答

【質問 1】

(質問者：西川委員)

令和 5 年度の経営課題 2 「こどもたちがいきいきと育つ環境整備」について、(R5 予算:287 百万円) とあり、他の経営課題に比べてかなりの予算組みと思われました。(28.7 百万円の間違いでしょうか?)

昨年度の「子育て・教育を応援するまちづくり」の予算:約 4500 万円と比べて、倍増(間違いの場合は減額)されているので、その理由が知りたいです。

回答

令和 4 年度運営方針までは、「事業ごと」の予算・決算額を記載することとしておりましたが、令和 5 年度運営方針の共通様式からは、「事業ごと」から「経営課題ごと」の予算・決算額を記載することとしました。

令和 4 年度の「子育て・教育を応援するまちづくり」のうち学校教育の支援にかかる経費として、460 万円、「子育て・教育を応援するまちづくり」全体では、4,116 万円を計上していました。区シティマネージャーとしての予算も含め、家庭児童相談員や利用者支援専門員など区役所に直接人員を配置する予算などを特に取り上げて計上しています。

令和 5 年度の予算については、子育て支援および学校教育支援については、区役所が関わることのできるさまざまな事業を機能的に使いながら実施する必要があるとの認識から、区シティマネージャーとしての予算も含めた区役所が関わるすべての予算を計上したことから 287 百万円と増大しています。主なものとしては、「児童いきいき放課後事業(180 百万円)」「子育て活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業等)(31 百万円)」などがあります。

【質問 2】

(質問者：西川委員)

「子どもたちがいきいきと育つ」環境整備として、不登校や障害のある子どもたち等に対する支援も重要と思われます。例えば区役所としても、区内の不登校者数の推移などを把握した上で、方針を検討されているのでしょうか。

また、子どもサポートネット事業でケース検討や、教育・福祉分野の支援につなぐ場合もあると思いますが、つないだ後のフォロー体制はどのようなになっているのでしょうか。

回答

・全国的な傾向として不登校児童生徒数は増加の傾向にありますが、子育て支援室においてさまざまな課題を抱える児童生徒の保護者からの相談を受け付けています。

・また、こどもサポートネット事業では、学校からの相談を受け、学校の教職員とともに、障がいをもつ児童生徒や不登校の児童生徒などの支援を行っています。ケース数は事業開始当初の令和 2 年度の 103 件からほぼ倍増し、令和 4 年度末には 191 件となりました。支援が成功し、状況の改善が見られた場合は、しばらくの間は学校で見守りを継続し、状況が安定すればこどもサポートネットの支援から外しています。人員・体制にも限りがあるためすべてのケースを継続して支援し続けることは不可能ですが、こどもの状況が不安定になれば再び学校からの相談を受け付けることとしています。